

年 組 名前：

四方津旧駅舎70年の歴史に幕 300人超別れ惜しむ

JR東日本八王子支社は3日、上野原市四方津のJR四方津駅で、旧駅舎のお別れ会を開いた。地域住民や鉄道ファンら300人以上が詰めかけ、約70年の歴史に幕を下ろす旧駅舎を惜しんだ。

「旧駅舎は70年にわたり、地域の方々に愛されていた。この駅舎のペーパークラフトが配られる」とあいさつ。上野原市の村上信行市長は「昔ながらの木造の駅舎に愛着があった。今後は新駅舎周辺が利便性の高い空間になるよう、整備を進めていく」と述べた。

上野原西中吹奏楽部が絢香さんの「にじいろ」など2曲を演奏。来場者には記念品として「新しい駅舎を中心にした」

都留高3年の志村倅希さんは「通学や友人との旅行で使っている思い出の駅舎で、な



旧駅舎のお別れ会に詰めかけた来場者
JR四方津駅



（昭和27年）に供用が始まった。老朽化のため取り壊され、跡地は市が駅前広場として整備する。（小林諒）

(2022年7月4日付 山梨日日新聞 23面)

問1 四方津駅旧駅舎「お別れ会」の記事です。来場者には、記念品として、何が配られましたか。

.....

問2 次の文章の①から⑥に当てはまる言葉や数字を答えてください。

『四方津駅の①は、②建てで、昭和③年から約④年にわたり、地域の方々に愛され

利用されたが、⑤のため取り壊されることになった。跡地は、⑥として整備される。』

①..... ②..... ③.....

④..... ⑤..... ⑥.....

問3 利用していた建物がなくなることは、寂しいことです。あなたにとって、なくなるまいほしい

建物は、ありますか。

.....